

◆グラントデザインについて  
問 暮らしのグラントデザインの対象分野は。  
区長 子ども、高齢者、福祉・医療、産業、文化・スポーツ等が対象分野。

◆区政改革について  
問 ①新たな委託民営化方針の検討状況は。②外郭団体の事業見直し予定は。  
企画 ①今後、具体的な条件整理等を施設ごとに検討。②人的・財政的関与のあり方等を検討し見直し方針を策定。

◆新学習指導要領について  
問 ①改訂の背景と方向性の捉え方は。②各校の道徳授業実施状況は。③外国語教育の実施に向けた準備は。  
教育長 ①これからの時代に求められる資質・能力を育む意図と捉える。②平成28年度から先行実施。充実に努める。③研修会を実施。教員を育成。

◆区長の所信について  
問 区長の区政改革に取り組む決意は。  
区長 区民がここに練馬区ありと胸を張れる自治体をつくりたい。

◆グラントデザイン構想について  
問 ①「都市」は希望を抱けるもの。②「暮らし」は潤いあるもの。③「区民参加と協働」はわかりやすく。  
副区長 ①夢のあるまちづくりを進める道しるべとなるよう取り組む。②生活を支え潤いをもたらす分野について検討。③表現方法に工夫を図る。

◆待機児童対策について  
問 ①待機児童ゼロの決意は。②臨時職員の任用期間の見直し。③小規模保育所等の卒園児童の対応は。④区立幼稚園のバス送迎体制は。⑤改修・改築は計画的に。⑥民間学

◆特色ある学校づくりについて  
問 メニュー拡大と校長の裁量拡大を図るべき。いかがか。  
教育長 学校・地域連携事業活用で充実を支援。検討する。  
◆地域医療について  
問 ①都保健医療計画の検討状況は。②高野台運動場用地を活用した病院整備の今後の時期は。

◆みどり施策について  
問 ①みどりの基本計画改定の基本的な考え方と取り組みは。②公共施設での倒木の危険性の高い樹木数と植え替え対応は。③寄贈された紅しだれ桜の苗木を植樹する場所と時期は。

◆児童小中学校体育館への空調機設置について  
問 ①方向性を決める時期。所見は。②2階以上に設置の体育館は早急に改築を。  
教育長 ①さらに検討を進める。②改築順位を早める等配慮。  
◆豊玉地域集会所開設について  
問 開館へのスケジュールと施設利用範囲は。  
地域文化 8月1日利用開始予定。豊玉・中村地域中心。

◆旧情報公開室について  
問 早急に除却し跡地整備を。  
企画 今後建物は除去し、当面はオープンスペースとする。  
◆重層長屋について  
問 建築規制等の見直しを。  
副区長 都と特別区で検討中。検討結果を踏まえ適切に対応。

◆ラグビーワールドカップ日本大会について  
問 開催に向けた取り組みを。  
地域文化 イベント開催等、関係団体等と検討中。今後も連携した取り組みを進める。  
◆重層長屋について  
問 重層長屋の安全のため都や関係機関との連携を。  
副区長 都と特別区で検討中。結果を踏まえ適切に対応。  
◆骨髄ドナー助成について  
問 骨髄ドナー助成制度を早くできる体制に。  
福祉 ①調査等の結果をさらなる整備に反映。②他区の事例も参考に検討。③早期療育と長時間の療育を提供し保護者を支援。送迎は検討を進める。

◆食品ロス削減について  
問 ①フードドライブ事業を推進すべき。②リサイクルセンター等に常設窓口の設置を。③子ども食堂等への食品寄付を。④食品ロスの削減に向けたシンポジウム開催を。  
環境 ①3R推進月間行事での実施を準備。②今年度の事業検証し効果的な回収と活用を検討。④各種行事等で啓発に努め、関係団体に協力依頼等。⑤今年度の開催を検討。

◆若者の施策参画について  
問 若者の施策形成過程への参画促進を。  
こども 子ども意見の意見を区政に反映する取り組みの充実を図り行政参加を進める。選挙管理若者の投票率向上に努める。  
◆文化芸術振興策について  
問 ①文化プログラムへの考案は。②練馬薪能を継続し国内外に情報発信を。③アニメカーニバルのさらなる充実と工夫を。④東映アニメーションと協働した街づくりを。  
区長 ①区内大学との協働連携で文化芸術振興を。⑥子ども、障がい者、高齢者等が本物の文化芸術に触れる機会の推進を。  
副区長 ①練馬ならではの都市文化の実現を目指す。②今年度は70周年記念公演を実施

### 潤いのある、ふるさと練馬のまちづくりを

練馬区議会自由民主党 小林 みつぐ

◆子育て支援について  
問 子育て支援の充実を図るべき。いかがか。  
教育長 学校・地域連携事業活用で充実を支援。検討する。  
◆地域医療について  
問 ①都保健医療計画の検討状況は。②高野台運動場用地を活用した病院整備の今後の時期は。

◆児童小中学校体育館への空調機設置について  
問 ①方向性を決める時期。所見は。②2階以上に設置の体育館は早急に改築を。  
教育長 ①さらに検討を進める。②改築順位を早める等配慮。  
◆豊玉地域集会所開設について  
問 開館へのスケジュールと施設利用範囲は。  
地域文化 8月1日利用開始予定。豊玉・中村地域中心。

◆旧情報公開室について  
問 早急に除却し跡地整備を。  
企画 今後建物は除去し、当面はオープンスペースとする。  
◆重層長屋について  
問 建築規制等の見直しを。  
副区長 都と特別区で検討中。検討結果を踏まえ適切に対応。

◆ラグビーワールドカップ日本大会について  
問 開催に向けた取り組みを。  
地域文化 イベント開催等、関係団体等と検討中。今後も連携した取り組みを進める。  
◆重層長屋について  
問 重層長屋の安全のため都や関係機関との連携を。  
副区長 都と特別区で検討中。結果を踏まえ適切に対応。  
◆骨髄ドナー助成について  
問 骨髄ドナー助成制度を早くできる体制に。  
福祉 ①調査等の結果をさらなる整備に反映。②他区の事例も参考に検討。③早期療育と長時間の療育を提供し保護者を支援。送迎は検討を進める。

◆食品ロス削減について  
問 ①フードドライブ事業を推進すべき。②リサイクルセンター等に常設窓口の設置を。③子ども食堂等への食品寄付を。④食品ロスの削減に向けたシンポジウム開催を。  
環境 ①3R推進月間行事での実施を準備。②今年度の事業検証し効果的な回収と活用を検討。④各種行事等で啓発に努め、関係団体に協力依頼等。⑤今年度の開催を検討。

### 待機児童解消と高齢者障がい者に優しいまちを

練馬区議会公明党 齊藤 静夫

◆若者の施策参画について  
問 若者の施策形成過程への参画促進を。  
こども 子ども意見の意見を区政に反映する取り組みの充実を図り行政参加を進める。選挙管理若者の投票率向上に努める。  
◆文化芸術振興策について  
問 ①文化プログラムへの考案は。②練馬薪能を継続し国内外に情報発信を。③アニメカーニバルのさらなる充実と工夫を。④東映アニメーションと協働した街づくりを。  
区長 ①区内大学との協働連携で文化芸術振興を。⑥子ども、障がい者、高齢者等が本物の文化芸術に触れる機会の推進を。  
副区長 ①練馬ならではの都市文化の実現を目指す。②今年度は70周年記念公演を実施

### 石神井公園駅周辺のまちづくりを実現へ！

練馬区議会自由民主党 西山 きよたか

◆若者の施策参画について  
問 若者の施策形成過程への参画促進を。  
こども 子ども意見の意見を区政に反映する取り組みの充実を図り行政参加を進める。選挙管理若者の投票率向上に努める。  
◆文化芸術振興策について  
問 ①文化プログラムへの考案は。②練馬薪能を継続し国内外に情報発信を。③アニメカーニバルのさらなる充実と工夫を。④東映アニメーションと協働した街づくりを。  
区長 ①区内大学との協働連携で文化芸術振興を。⑥子ども、障がい者、高齢者等が本物の文化芸術に触れる機会の推進を。  
副区長 ①練馬ならではの都市文化の実現を目指す。②今年度は70周年記念公演を実施

◆旧情報公開室について  
問 早急に除却し跡地整備を。  
企画 今後建物は除去し、当面はオープンスペースとする。  
◆重層長屋について  
問 建築規制等の見直しを。  
副区長 都と特別区で検討中。検討結果を踏まえ適切に対応。

◆ラグビーワールドカップ日本大会について  
問 開催に向けた取り組みを。  
地域文化 イベント開催等、関係団体等と検討中。今後も連携した取り組みを進める。  
◆重層長屋について  
問 重層長屋の安全のため都や関係機関との連携を。  
副区長 都と特別区で検討中。結果を踏まえ適切に対応。  
◆骨髄ドナー助成について  
問 骨髄ドナー助成制度を早くできる体制に。  
福祉 ①調査等の結果をさらなる整備に反映。②他区の事例も参考に検討。③早期療育と長時間の療育を提供し保護者を支援。送迎は検討を進める。

◆食品ロス削減について  
問 ①フードドライブ事業を推進すべき。②リサイクルセンター等に常設窓口の設置を。③子ども食堂等への食品寄付を。④食品ロスの削減に向けたシンポジウム開催を。  
環境 ①3R推進月間行事での実施を準備。②今年度の事業検証し効果的な回収と活用を検討。④各種行事等で啓発に努め、関係団体に協力依頼等。⑤今年度の開催を検討。

◆若者の施策参画について  
問 若者の施策形成過程への参画促進を。  
こども 子ども意見の意見を区政に反映する取り組みの充実を図り行政参加を進める。選挙管理若者の投票率向上に努める。  
◆文化芸術振興策について  
問 ①文化プログラムへの考案は。②練馬薪能を継続し国内外に情報発信を。③アニメカーニバルのさらなる充実と工夫を。④東映アニメーションと協働した街づくりを。  
区長 ①区内大学との協働連携で文化芸術振興を。⑥子ども、障がい者、高齢者等が本物の文化芸術に触れる機会の推進を。  
副区長 ①練馬ならではの都市文化の実現を目指す。②今年度は70周年記念公演を実施

### 都市農業を守り、魅力ある文化都市練馬へ！

練馬区議会公明党 うすい 民男

◆若者の施策参画について  
問 若者の施策形成過程への参画促進を。  
こども 子ども意見の意見を区政に反映する取り組みの充実を図り行政参加を進める。選挙管理若者の投票率向上に努める。  
◆文化芸術振興策について  
問 ①文化プログラムへの考案は。②練馬薪能を継続し国内外に情報発信を。③アニメカーニバルのさらなる充実と工夫を。④東映アニメーションと協働した街づくりを。  
区長 ①区内大学との協働連携で文化芸術振興を。⑥子ども、障がい者、高齢者等が本物の文化芸術に触れる機会の推進を。  
副区長 ①練馬ならではの都市文化の実現を目指す。②今年度は70周年記念公演を実施

◆旧情報公開室について  
問 早急に除却し跡地整備を。  
企画 今後建物は除去し、当面はオープンスペースとする。  
◆重層長屋について  
問 建築規制等の見直しを。  
副区長 都と特別区で検討中。検討結果を踏まえ適切に対応。

◆ラグビーワールドカップ日本大会について  
問 開催に向けた取り組みを。  
地域文化 イベント開催等、関係団体等と検討中。今後も連携した取り組みを進める。  
◆重層長屋について  
問 重層長屋の安全のため都や関係機関との連携を。  
副区長 都と特別区で検討中。結果を踏まえ適切に対応。  
◆骨髄ドナー助成について  
問 骨髄ドナー助成制度を早くできる体制に。  
福祉 ①調査等の結果をさらなる整備に反映。②他区の事例も参考に検討。③早期療育と長時間の療育を提供し保護者を支援。送迎は検討を進める。

◆食品ロス削減について  
問 ①フードドライブ事業を推進すべき。②リサイクルセンター等に常設窓口の設置を。③子ども食堂等への食品寄付を。④食品ロスの削減に向けたシンポジウム開催を。  
環境 ①3R推進月間行事での実施を準備。②今年度の事業検証し効果的な回収と活用を検討。④各種行事等で啓発に努め、関係団体に協力依頼等。⑤今年度の開催を検討。

◆若者の施策参画について  
問 若者の施策形成過程への参画促進を。  
こども 子ども意見の意見を区政に反映する取り組みの充実を図り行政参加を進める。選挙管理若者の投票率向上に努める。  
◆文化芸術振興策について  
問 ①文化プログラムへの考案は。②練馬薪能を継続し国内外に情報発信を。③アニメカーニバルのさらなる充実と工夫を。④東映アニメーションと協働した街づくりを。  
区長 ①区内大学との協働連携で文化芸術振興を。⑥子ども、障がい者、高齢者等が本物の文化芸術に触れる機会の推進を。  
副区長 ①練馬ならではの都市文化の実現を目指す。②今年度は70周年記念公演を実施

### 地球温暖化対策について

練馬区議会自由民主党 西山 きよたか

◆若者の施策参画について  
問 若者の施策形成過程への参画促進を。  
こども 子ども意見の意見を区政に反映する取り組みの充実を図り行政参加を進める。選挙管理若者の投票率向上に努める。  
◆文化芸術振興策について  
問 ①文化プログラムへの考案は。②練馬薪能を継続し国内外に情報発信を。③アニメカーニバルのさらなる充実と工夫を。④東映アニメーションと協働した街づくりを。  
区長 ①区内大学との協働連携で文化芸術振興を。⑥子ども、障がい者、高齢者等が本物の文化芸術に触れる機会の推進を。  
副区長 ①練馬ならではの都市文化の実現を目指す。②今年度は70周年記念公演を実施

◆旧情報公開室について  
問 早急に除却し跡地整備を。  
企画 今後建物は除去し、当面はオープンスペースとする。  
◆重層長屋について  
問 建築規制等の見直しを。  
副区長 都と特別区で検討中。検討結果を踏まえ適切に対応。

◆ラグビーワールドカップ日本大会について  
問 開催に向けた取り組みを。  
地域文化 イベント開催等、関係団体等と検討中。今後も連携した取り組みを進める。  
◆重層長屋について  
問 重層長屋の安全のため都や関係機関との連携を。  
副区長 都と特別区で検討中。結果を踏まえ適切に対応。  
◆骨髄ドナー助成について  
問 骨髄ドナー助成制度を早くできる体制に。  
福祉 ①調査等の結果をさらなる整備に反映。②他区の事例も参考に検討。③早期療育と長時間の療育を提供し保護者を支援。送迎は検討を進める。

◆食品ロス削減について  
問 ①フードドライブ事業を推進すべき。②リサイクルセンター等に常設窓口の設置を。③子ども食堂等への食品寄付を。④食品ロスの削減に向けたシンポジウム開催を。  
環境 ①3R推進月間行事での実施を準備。②今年度の事業検証し効果的な回収と活用を検討。④各種行事等で啓発に努め、関係団体に協力依頼等。⑤今年度の開催を検討。

◆若者の施策参画について  
問 若者の施策形成過程への参画促進を。  
こども 子ども意見の意見を区政に反映する取り組みの充実を図り行政参加を進める。選挙管理若者の投票率向上に努める。  
◆文化芸術振興策について  
問 ①文化プログラムへの考案は。②練馬薪能を継続し国内外に情報発信を。③アニメカーニバルのさらなる充実と工夫を。④東映アニメーションと協働した街づくりを。  
区長 ①区内大学との協働連携で文化芸術振興を。⑥子ども、障がい者、高齢者等が本物の文化芸術に触れる機会の推進を。  
副区長 ①練馬ならではの都市文化の実現を目指す。②今年度は70周年記念公演を実施

一般質問は、6月12日・13日・14日の3日間、11名の議員が行いました。ここでは質問と答弁の要旨を掲載しています。全文は、定例会閉会後、おおむね2か月後に発行予定の会議録をご覧ください。会議録は、区立図書館、区民情報ひろば(区役所西庁舎1階)、区議会ホームページで閲覧できます。また、質問の様子は区議会ホームページでご覧いただけます。ぜひご利用ください。

◆区長の基本姿勢について

問 ①区長は3年1か月のこ  
れまでの取り組みをどのよう  
に感じ、今後の課題に対しど  
のような思いで取り組むのか  
②テロなどの脅威に対し区は  
生命、財産を守る上で引き続  
き毅然とした態度で臨むこと  
が必要だがいかがか。③「練  
馬区国民保護計画」に内容が

◆防災対策について

問 ①想定外の地震対策のた  
め、区民が、住んでいる土地  
の特性を知り家屋の状況を把  
握するよう啓発が重要。所見  
は。②国の新たな「揺れやす  
さマップ」公開に合わせ、世  
田谷区のような独自サイトを  
作るべき。所見は。③建築物

◆築地市場の豊洲移転について

問 区民の食の安全・安心を  
守るため、860億円を使って対  
策をしても汚染をなくせない  
豊洲への移転は中止し、築地  
での再整備を都に求めよ。

◆保育所待機児解消について

問 ①待機児対策に逆行する  
委託化やめ、区立直営園を増  
やせ。②待機児数は48人では  
なく、保育所等に入れなかつ  
た830人とすべき。③整備目標  
を抜本的に引き上げよ。④就  
学前まで一貫した保育所こそ  
必要である。方針転換せよ。

◆子ども

①先頭を切って保育サ  
ービスの充実を実現してきた  
のは民間の保育所。こども  
今後おむね10年で20園の委  
託を実施。直営園増設の考え  
はない。②国の基準に基づき  
算出したものであり、指摘は

◆防災対策について

問 ①想定外の地震対策のた  
め、区民が、住んでいる土地  
の特性を知り家屋の状況を把  
握するよう啓発が重要。所見  
は。②国の新たな「揺れやす  
さマップ」公開に合わせ、世  
田谷区のような独自サイトを  
作るべき。所見は。③建築物

ジュニアビックバンドの創設を！

練馬区議会民進党・無所属クラブ 浅沼 敏幸

の耐震対策は重要。耐震性に  
問題のある家屋数は把握して  
いるか。④「耐震改修相談会」  
の様子、これまでの改修率、  
今後の取り組みは。⑤品川区  
は「災害復旧特別会計」を新  
設したが、区は財政上どのよ  
うな対策を考えているか。  
⑥危機管理 ①都公表の地域危  
険度を「防災の手引き」に掲

◆国民健康保険について

問 ①区の責任は「区民負担  
の公平性確保」としているが、  
当たらぬ。③待機児童の発  
生要因は、地域による需給の  
ミスマッチ。④さまざまな保  
育ニーズに応えるためには総  
合的な対策が必要。保育所整  
備だけでは解決できない。

◆豊洲移転やめ、築地再整備を都に求めよ！

問 どのような基準で公平性を確  
保しているのか。②生活費非  
課税と応能負担の原則に公平  
性が優先されるのか。③国保広  
域化後もさらなる一般財源繰  
り入れて負担軽減を。④徴収  
強化でなく、徴収緩和措置を  
積極的に活用せよ。⑤国保財  
政が厳しい原因は、国庫負担  
の引き下げ。区民に実態を知

日本共産党練馬区議団 有馬 豊

載し周知。②内容を確認し情  
報提供のあり方を検討。③旧  
耐震基準の住宅は5万4千戸。  
④昨年度5か所で開催。全住  
戸数に対し耐震化率は85%。  
無料簡易診断制度の紹介やア  
ンケートを実施。ニーズを踏  
まえ耐震改修促進に努める。  
⑤地域防災計画に基づ

◆地域文化

問 ①芸術鑑賞事業や  
参加型イベントの実施等。企  
画の充実と自主的な活動の支  
援に努める。②ジュニアビッ  
グバンドは練習場所や楽器の  
確保等が課題。まずは興味を  
持ち楽しめる企画の充実を図る。  
③自治体間の施設連携について  
近隣区と連携して共同で  
サービスや事業を考えること  
が有効。考えと取り組みは。

◆子どもや青少年を対象とした文化芸術振興について

問 ①子どもや青少年に向け  
た文化芸術振興の取り組みと  
今後の展開は。②ジュニアビ  
ックバンドの創設等、子ども  
や青少年が参加できる企画の  
充実を。所見は。

◆区民

問 ①国保加入の区民とそ  
れ以外の区民との公平性確保  
が区の責務。②最低限の生活  
の保障等の原則と対立するも  
のではない。③一般会計から  
の繰り入れについて、都は被  
保険者の負担が急増しないよ

◆教育振興

問 支給額引き上げ等  
は考えていない。入学準備金  
の入学年度開始前支給は課題  
整理しながら改善に向け検討。  
④大型道路整備による財政へ  
の影響について

◆公共施設等総合管理計画

問 公共施設等総合管理計画  
では、都市計画道路の整備費  
は実態よりもはるかに安く示  
されており、実際には2千億  
円を超える予算が使われる。  
不要不急の道路整備は見直せ  
ない。都市計画道路は都と区  
が役割に応じ整備。区の経費  
は計画で示したとおり約50億  
円と推計。道路整備経費が財  
政を圧迫している実態はなく  
計画を見直す考えはない。

◆選挙啓発について

問 ①主権者教育の現状は。  
②選挙管理委員会と教育委員  
会のさらなる連携を。③住民  
票を移していない大学生等に  
対する対策は。④投票のしや  
すさ・利便性は重要。投票区  
の見直しを。⑤区長の任期に  
合わせて区議会を自主解散し、  
区長選・区議選の同時実施に  
より投票率の低下を防ぎ、選  
挙費用約2億円の削減を。

◆選挙管理

問 ①小中学校等で選  
挙体験教室等を実施。約2千  
500人が参加。②引き続き教育  
機関等と連携して取り組む。  
③区内3大学に依頼し案内チ  
ラシを配布。④利便性に配慮  
した投票区の設定に努める。  
⑤経費削減効果はあるが、投  
票率への影響は定かではない。

◆災害対策について

問 ①平時より自衛隊と連携  
し災害対応できる関係作りを。  
②防災機能を持った公園を増  
やされたい。③かまどベンチ  
を活用した炊出し訓練の推進  
を。④災害廃棄物の分別方法  
や仮置き場など早期に検討を。

◆健康

問 ①疾病予防や体調不良  
への対応等情報を発信。②練  
馬区健康手帳で分かりやすく  
紹介。健康管理アプリ等も活  
用。③昨年、講演会を開催し  
大変好評。本年も開催。④効  
果を十分検討する必要がある。  
⑤成年後見制度について

◆健康寿命の延伸の取り組み

問 ①健康管理アプリを活用  
し未病改善情報の発信を。②  
厚生労働省推進のプラス・テ  
クの周知を。③心のスキルア  
ップトレーニングを活用し講  
習会等の開催を。④日本健康  
マスター検定受講料の助成を。

◆西武新宿線連続立体交差事業と沿線まちづくりについて

問 ①上石神井駅周辺の南北  
道路整備の取り組み状況は。  
②駅前交通広場は早期整備が  
必要。商店街への歩行者の動  
線や、通学路の動線等に配慮  
し検討を。③隣接区市との連  
携は。④東京芸術大学石神井

◆都市農業について

問 ①農地保全等のため生産  
緑地の賃借制度や相続税等の  
改正は不可欠。対応について  
の考えは。②農地買い取りの  
ため財源確保の方策の検討を。

◆入札契約制度について

問 ①抱い手3法改正に対す  
る区の対策は。②区の工事業  
件の平均落札率は。③入札契  
約制度の改善に向けた検討は。

◆入札契約制度について

問 ①外環の2の用地測量  
完了に向け取り組む。②交通  
管理者等と協議し整備計画の  
策定を進める。③情報交換を  
行いつつ、早期事業化に向け

◆入札契約制度について

問 ①外環の2の用地測量  
完了に向け取り組む。②交通  
管理者等と協議し整備計画の  
策定を進める。③情報交換を  
行いつつ、早期事業化に向け

◆同時選挙で投票率の低下防止と経費削減を！

練馬区議会自由民主党 田中 よしゆき

問 ①さらなる農地制度や  
税制改正が必要。さらに強  
く関係省庁に要望。②副区長  
の買い取り制度活用も視野。  
③国に支援策を強く要請。都  
の買い取り制度活用も視野。  
④入札契約制度について

◆入札契約制度について

問 ①抱い手3法改正に対す  
る区の対策は。②区の工事業  
件の平均落札率は。③入札契  
約制度の改善に向けた検討は。

◆入札契約制度について

問 ①外環の2の用地測量  
完了に向け取り組む。②交通  
管理者等と協議し整備計画の  
策定を進める。③情報交換を  
行いつつ、早期事業化に向け

◆入札契約制度について

問 ①外環の2の用地測量  
完了に向け取り組む。②交通  
管理者等と協議し整備計画の  
策定を進める。③情報交換を  
行いつつ、早期事業化に向け

◆アニメ産業を生かし、練馬ならではの観光を

練馬区議会公明党 宮崎 はるお

問 ①健康管理アプリを活用  
し未病改善情報の発信を。②  
厚生労働省推進のプラス・テ  
クの周知を。③心のスキルア  
ップトレーニングを活用し講  
習会等の開催を。④日本健康  
マスター検定受講料の助成を。

◆健康

問 ①疾病予防や体調不良  
への対応等情報を発信。②練  
馬区健康手帳で分かりやすく  
紹介。健康管理アプリ等も活  
用。③昨年、講演会を開催し  
大変好評。本年も開催。④効  
果を十分検討する必要がある。  
⑤成年後見制度について

◆健康寿命の延伸の取り組み

問 ①健康管理アプリを活用  
し未病改善情報の発信を。②  
厚生労働省推進のプラス・テ  
クの周知を。③心のスキルア  
ップトレーニングを活用し講  
習会等の開催を。④日本健康  
マスター検定受講料の助成を。

◆健康

問 ①疾病予防や体調不良  
への対応等情報を発信。②練  
馬区健康手帳で分かりやすく  
紹介。健康管理アプリ等も活  
用。③昨年、講演会を開催し  
大変好評。本年も開催。④効  
果を十分検討する必要がある。  
⑤成年後見制度について

◆学校の安全安心対策について

問 ①通学路危険個所に、視  
覚的に注意喚起する路面表  
示を。②区有地等の公有地を  
活用し、歩道整備等の実施を。  
③小学校の学童擁護員の増員  
を。④防火シャッターの率先  
した改善で事故を未然に防ぐ  
取り組みを。⑤前倒しで学校  
トイレの洋式化を。

◆教育

問 ①警察と協議が整い  
次第対応。②区立施設の改修  
時期等を捉え検討。③学校と  
協議し、状況に応じ増員を図る。  
④昨年度から順次改修。早急  
に進める。年2回点検で安全  
対策に万全を期す。⑤今年度  
1系統は全区立小中学校で完  
了。2系統目以降も取り組む。

◆教育

問 ①警察と協議が整い  
次第対応。②区立施設の改修  
時期等を捉え検討。③学校と  
協議し、状況に応じ増員を図る。  
④昨年度から順次改修。早急  
に進める。年2回点検で安全  
対策に万全を期す。⑤今年度  
1系統は全区立小中学校で完  
了。2系統目以降も取り組む。

◆教育

問 ①警察と協議が整い  
次第対応。②区立施設の改修  
時期等を捉え検討。③学校と  
協議し、状況に応じ増員を図る。  
④昨年度から順次改修。早急  
に進める。年2回点検で安全  
対策に万全を期す。⑤今年度  
1系統は全区立小中学校で完  
了。2系統目以降も取り組む。

◆教育

問 ①警察と協議が整い  
次第対応。②区立施設の改修  
時期等を捉え検討。③学校と  
協議し、状況に応じ増員を図る。  
④昨年度から順次改修。早急  
に進める。年2回点検で安全  
対策に万全を期す。⑤今年度  
1系統は全区立小中学校で完  
了。2系統目以降も取り組む。

◆待機児童対策について

問 ①28年度には待機児童ゼロ作戦として1千人の定員拡大をしながらも、48人の待機児童が発生。所見は。②今後の少子化を見据え、保育所の整備、定員拡大に対し長期的な視点が重要。所見は。③3歳児1年保育導入の趣旨と、送迎用の一時滞在ステーションの設置場所についての考えは。④法改正による育児休業期間延長に伴い、0歳児枠の希望減が想定される。現時点の考えは。⑤さらなる保育士確保は。⑥保育の質低下や事故の防止のため、私立認可保育所の巡回指導強化を。

保育所待機児童の早期解消を！

練馬区議会民進党・無所属クラブ 倉田 れいか

対応。③2歳児までの施設増に伴い、3歳児の受け入れ態勢充実が急務。交通至便で安全な場所に整備。④需要減となるかは判断を許さない。適切に対処。⑤都の補助制度等を活用し処遇改善を図る。潜在保育士等対象の面接会等も増やす。⑥国の補助制度活用

は。②都に、消防団全分団への可搬ポンプ積載車の早期配備を求めたい。所見は。③成人の日のつどい等のイベントにおいても、東京消防庁と連携し、加入促進に努める。④今年度は2か所に整備予定。引き続き、東京消防庁に要請する。

◆災害時の区対応について

問 過去の災害の教訓から、車中泊等の避難者についても計画で明確にすべき。所見は。②危険管理 熊本地震を踏まえた対応については、本年度の地域防災計画修正の中で検討。

◆消防団員確保の手立て

問 ①消防団員確保の手立て

◆介護について

問 ①介護度の維持・改善による財政的インセンティブ付与制度活用で、さらなる介護予防事業の発展を。②外国人技能実習制度施行を受け、練馬介護人材育成・研修センターが事業者の実習生受け入れをサポートする体制の構築を。

◆高齢施策

問 ①国の評価指標等

◆高年齢者

問 ①制度の持続可能性確保のため必要。反対する考えはない。利用者負担軽減の仕組みはある。②実態に合わない要介護認定を行う考えはない。③計画策定の中で課題を検討。④センターの担当区域の高齢者人口に応じた専門職員を既に検討。⑤総合

介護負担軽減、学童保育は増設で待機解消を

日本共産党練馬区議団 坂尻 まさゆき

問 ①介護利用料3割負担に反対し、実情に応じた軽減措置を。②国の交付金目当てに介護卒業を強いることは絶対にするな。③次期介護保険事業計画は事業者の実態を踏まえたものにせよ。④ケアマネ等増やし地域包括支援センターの強化を。⑤区職員の専門性向上のため区直営を守れ。

福祉事務所とセンター一体で対応。直営維持の考えはない。①重層長屋は住環境や防災上問題がある。都に対し建築安全条例の見直しを求めよ。②既存の重層長屋に対し安全対策の指導を。③空き家空き室を使い区営住宅整備、低所得者へ家賃補助を。④都営住

◆石神井公園駅前開発について

問 ①計画予定地内で地権者が建て替えを開始。今後計画を変更するのか。強制収用は絶対にならないと考えてよいか。②再開発に伴う区立施設複合化の検討状況と考え方は。

◆技監

①検討中の事業は、個々の従前資産を再開発ビルの床に変換するもの。土地や建物の収用事業ではない。②さまざまな観点から検討し、10年程度の間に方向性を定める。

一般質問(要約)

◆区行政の問題点について

問 ①常にトップクラスの特別区財政調整交付金(以下、財調)を受け、区誕生70年が経過したにもかかわらず確固たる行政路線を持っていない。特に財政は漠然と成り行き任せで、特別区税の歳入は財調の81%しかない。前川区政は3年の歳月を費やし具体的成果の報告もない。区財政については常時報告すべき。見解は。②イメージ区政は抽象的で一方的、傲慢、官僚的で、都政の二番煎じの冷ややか行政。みどりの風吹くまちビジョン、グランドデザイン構想等曖昧な表現ばかりで、区民に理解できないものが多い。具体性を持った区政を行うべき。見解は。③民間委託の方が有利とする、自らの行政を無用とする傾向は是認してよいか。

区行政は漠然と成り行き任せで傲慢

オンブスマン練馬 土屋 としひろ

問 ①10年後の財政環境の変化を見越し、財政運営の持続可能性確保に向け具体的に計画化し取り組んでいる。財政状況は毎年度の決算報告のほか定期的に区報・ホームページで報告。積極的な情報提供として果たし、民間の知恵等活用した方が効果的な分野は民間と力を合わせることを原則としている。指摘は何を根拠としているのかわからない。

問 ①練馬総合福祉事務所が区民が担当者と話し合い中に、職員から一方的に暴力、傷害

認識。指摘は全くの誤り。公正な判断が下されるものと確信している。②適切な行為と認識。指摘は全くの誤り。③教育行政について 光が丘四中の廃校では、事前の対話、説明が全く不足していた。話し合いを充分に行う対策が必要。回答を。

◆医療政策について

問 病床の大幅不足等について、保護者等に説明会を計8回開催する等、丁寧な説明を行った。指摘は事実と異なる。②地域医療 さまざまな努力を重ね、一般・療養病床数は平成16年度の1千67床から本年4月の2千106床まで増加。今後も新たな病院整備に取り組み、既存病院の増床も検討。

議会Q&A

Q 「定例会」とはなんですか？

A 区長により定期的に招集される議会のことを定例会と呼び、議案などの審査を行うために一定期間の会期を定めて本会議や委員会を開催します。

練馬区では、条例により開催回数を年4回(2月、6月、9月および11月)と定めており、定例会中の本会議では、区長の所信表明、議案の議決、議員の一般質問などが行われます。

Q 「委員会」とはなんですか？

A 区議会が扱う議案や請願など多岐にわたる事項について、専門的に審査するために設けられるもので、常任委員会、議会運営委員会特別委員会があります。

Q 「会派」とはなんですか？

A 議会の中で同じ政策や区政に対して同じような考え方をもち活動する議員の集まりです。練馬区議会では現在、所属議員が1人の会派も含めて10の会派があります。



本会議

一般質問は、6月12日・13日・14日の3日間、11名の議員が行いました。ここでは質問と答弁の要旨を掲載しています。全文は、定例会閉会后、おおむね2か月後に発行予定の会議録をご覧ください。会議録は、区立図書館、区民情報ひろば(区役所西庁舎1階)、区議会ホームページで閲覧できます。また、質問の様子は区議会ホームページでご覧いただけます。ぜひご利用ください。